

2018年度 パフォーマンス向上会議不適合報告情報(2018年10月29日(月)分)

◆ 不適合とは、本来あるべき状態とは異なる状態、もしくは本来行うべき行為(判断)とは異なる行為(判断)を言います。  
法律等で報告が義務づけられているトラブルから、発電所の通常の点検で見つかる計器や照明の故障など、広い範囲の不具合が対象になります。

2018年10月29日にパフォーマンス向上会議で審議された不適合は、下記のとおりです。

区分 I: 該当なし

区分 II: 該当なし

区分 III: 該当なし

その他: 3 件

NO.	号機等	不適合件名	グレード	備考
1	3号機	換気空調系タービン建屋排気ファン室南側扉において、ドアノブの爪(ラッチボルト)の破損が認められたため、当該箇所を点検・修理。 なお、当該扉の開閉、施錠に問題なし。	対象外	
2	3号機	プロセス計算機データー伝送装置(中継WS1)において、「計算機軽故障」警報の発生が認められたため、原因調査・対策検討。	GⅢ	
3	その他	仮設排水ポンプ(仮設雨水排水ポンプA-M6、オーブントレンチ内排水ポンプNo. 7)において、動作不良(動作せず)が認められたため、当該ポンプを交換。 なお、代替仮設排水ポンプを設置済。	対象外	